

# SCOUTING 茨城

1997年・11月☆茨城県連盟広報委員会発行

## ボーイスカウト日本連盟創立75周年 中央記念式典

### 世界スカウト運動90周年

財団法人ボーイスカウト日本連盟の創立75周年の中  
央記念式典が、去る10月12日（日）午後 東京日比谷  
公会堂に於いて、皇太子殿下のご来臨をいただきまし  
て盛大に挙行されました。

佐波理事長の式辞のち、皇太子殿下からお祝いの  
言葉があり、町村文部大臣と世界スカウト委員長フラ  
ンシスコ・ロマン氏の祝辞、神奈川連盟ピーバー副長  
の宇宙飛行士 野口総一さんが今年、スペースシャトル  
に搭乗する土井宇宙飛行士に記念品の搭載をする75  
周年の旗を受け取るセレモニーがあり意義のある式典  
でした。

本県からは橋本副理事長はじめ刈部理事長ほか役員  
11名、指導者10名代表スカウト35名が参加しました。

ここで特記すべきことは、日本連盟旗の旗手を勤め  
ていたのは取手第1団のローバースカウトの種田君で  
した。

第2部のフェスティバルには、吉田俊仁式典小委員  
長（取手1団）の企画により70分間、コンサートと踊  
りなど、茨城第5地区、第6地区のカブスカウト・ボ  
ーイスカウト・シニアースカウトの多くの方が、千葉  
県・東京連盟のスカウトとともに活躍して式典を盛り  
上げました。

### 75周年記念レセプション

10月12日夜は、場所を帝国ホテルに移し記念レセプ  
ションが開催され皇太子殿下、雅子妃殿下がご臨席さ  
れ、多くの関係者とお話しになり、また町村文部大臣  
の挨拶のなかで、青少年の非行が最近多く困っている  
が、青少年全員がボーイスカウトに入団すれば非行は  
無くなるとの言葉に、会場は盛大な拍手が鳴り続きま  
した。

野口宇宙飛行士もNASAからこの式典のために駆  
けつけ、多くの方と記念写真を撮られておりました。

本県からは橋本副連盟長以下16名が参加されました。



ビデオからのプリント

### 皇太子殿下のおことば

本日、この中央記念式典に出席し、皆さんとともに  
ボーイスカウト日本連盟創立75周年を祝うことを、喜  
ばしく思います。

ボーイスカウト日本連盟は、大正11年の創立以来75  
年の長きにわたり、健全な青少年の育成に大きな功績  
をあげてこられました。ここに、長年の関係者の努力  
に対し、心から敬意を表します。

私も、日本ジャンボリーをはじめとするボーイスカウト  
の大会に出席をし、また、富士スカウトに進級された  
皆さんと毎年お会いするなど、スカウト運動との  
かかわりを深めてまいりましたが、スカウトの皆さん  
と参加したキャンプには大変思い出深いものがあります。

世界スカウト運動90周年にもあたる本年、ボーイスカウト日本連盟は、スカウト活動の創始者ベーデン・パウエル卿の言葉—Lookinf Wider—『視野をより広く』を75周年のテーマとして掲げられていると伺いま

した。このテーマの下に、一人ひとりのスカウトが、国際貢献活動としての難民救援の街頭募金と支援活動、環境の美化・保全活動など、幅広い活動を行われていることは、大変意義あることだと思います。

青少年を取り巻く環境が複雑化してきている今日、青少年団体が今後果たし得る役割には非常に大きなものがあると思います。野外の活動を中心におき、年齢

の異なる青少年が集団で活動し、健全な心身をつくり上げることを特徴とするボーイスカウト運動が、より多くの参加者を得、新しい展望を持って活動を拡大していくことを心から期待いたします。21世紀を担う青少年の育成に向けて、ボーイスカウト運動がさらに充実、発展することを願い、式典に寄せる言葉といたします。



参加されたスカウト・役員・指導者

これから先の記事は、第14回茨城県キャンポリーの広報部長として活躍された海老原 学さんが、毎日茨城県のキャンポリー・ニュースとして現地で、発電機の電力でコンピュータを駆使して発行したニュースから抜粋いたしました。

多くの写真が載せてありましたが、そのコピーですので1部しか掲載出来ませんことをお詫びいたします。

このニュースの発行については、支援いただいた陸上自衛隊の第12師団の赤谷幕僚長が本部を視察された際、自衛隊の広報部員に（美人の女性の自衛隊の陸士長でした）こんな場所で毎日茨城の県連盟が素晴らしいニュースを発行していることを良く学ぶべきだと、指示していたことが今も印象に残っています。

（事務局長 堀江）

## 第14回茨城県キャンポリー(第4回関東キャンポリー)

1997年8月2日～6日第14回茨城県キャンポリー第4回関東キャンポリーが群馬県相馬原に於いて「ゆこう！班旗をあげて」一広く、高く、遠くを見よう、道は拓ける一のテーマもと開催されました。スカウトたちは全体行事、大会行事、県連公開行事と数多くのプログラムをこなし、まっくろになって活動していました。活躍の模様は、今回初めて発行されましたキャンポリーニュースを掲載しましたのでご覧ください。



「開会宣言」鈴木勝利大会本部長



スカウト宣言 高崎第12団 山中雅行君

## 特集1. 僕らが到着1番乗り

今日、茨城県連の参加隊の中で1番に到着したのは、竜ヶ崎2団の人たちでした。しかし、そんな彼らに悲劇が待っていました。受付をする前に荷物を下ろした彼らには、野営区の区割りが変更されていることを知るよしもなかった。彼らはこの後、もう一度荷物を積み込み、移動することになった。あーしんど。しかし、何はともあれ、

おめでとう！竜ヶ崎2団！

## お知らせ by 広報部

我が広報部に、シニアーの県連奉仕の2人が加わりました。向かって左側が涼子ちゃん、右側が百香里ちゃんです。（真ん中のおっちゃんは、我が広報部の部長です）

もし彼女たちが取材にうかがったら、こころよく応じてくださるようよろしくお願ひします。

がんばれ！茨城連盟！

シニアースカウト

北茨城第1団 早川 涼子さん

鈴木百香里さん



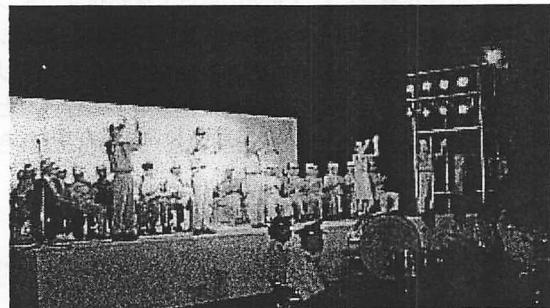
## VOL.2 開会式キャピキャピ号 8月3日発行

いよいよキャンポリーも本番がスタート。みんな思いの期待と不安を胸に開会式に臨んだことでしょう。さて、そんな開会式、少しウラ側をのぞいてみました。

今回司会を務めた大会行事部の若葉悦子さんは高校の書道の先生で開会式のプラカードも書いたそうです。司会はとても緊張すると言っていました。音響はプロのかた。開会式前に会場に流れていたカーペンターズなどは、本紙記者の涼子ちゃんと趣味がぴったりみたいで、話がはずんでいました。

大会前日から奉仕していた那珂1団の平根君、松本君は副旗手、今日から参加の千野広武君は県連旗手。ま、そういうこともあるさ。

少し気になったのは、最後の自衛隊のみなさんの演奏の時、茨城のスカウトたちは疲れていたのか、ちょっと元気がないようだったよ。みんな、元気出していこ。声出していこう。



## お知らせコーナー by 行事部

県連公開行事「マッスル・ランキング97 サマーチャレンジ」内容公開!!

「だるま落とし」

大だるま落としをかけやで行う。いくつ〇「達成時間で勝負！」

「9チャレンジ」

9個のホールそれぞれにボールを投げ入れる。

ボールは13個。パーフェクトなるか？

「いいらいら棒」

特製イライラコースをハンドバーを持ってクリアする。両端の導伝体に触ると……。

「竹馬アスロン」

竹馬に乗って、障害物コースをたどっていく。

## VOL.3 カミナリスゴいぞ！ピカピカ号

第1野営区 体力賞受賞

4KC スカウトフェスティバル

『ザ☆ゴングショウ』にて

おめでとう！第1野営区

(参加隊)

水戸1、2、4、5、6、8

ひたちなか1、2

那珂1、3

茨城1

日立1、5、6、7、8

高萩1

北茨城1

常陸太田2 からの代表スカウト達

8月4日に行われた、4KCスカウトフェスティバルのザ☆ゴングショーにおいて、我が茨城県連の第1野営区のみなさんが、退出している途中にゴングが鳴ってしまったにもかかわらず、見事！体力賞を受賞した。本誌が懸念した「元気のなさ」を払拭するように、各野営区が元気いっぱいのパフォーマンスを披露した。

だけど、地元女子高生のバトンダンスの時の盛り上がりにはちょっとかなわなかったかな？気がつくと舞台そでには、シニアーの人たちがいつの間にか集合していた。

## 「マッスル・ランキング'97 サマーチャレンジ」

### TOP5 発表!!

第1位 水戸4団(茨城) イーグル班 117 Points

第2位 与野団(埼玉) わし班 101.5Points

第3位 桐生5団(群馬) ワイルドキャッツ班 84Points

第4位 水戸4団(茨城) 班 81 Points

第5位 桐生12団(群馬) ライオン班 77 Points

大好評のイライラ棒。クリア第1号は埼玉1団の松山翔一君。ちなみに本紙記者の涼子ちゃんは、クリア第4号でした。君たちの挑戦をいつでも受けたつぜ。

このマッスルチャレンジは、行事部の方々が“やって楽しい。見て楽しい。”をモットーに考えられていて、まだ見ていない人も是非見に来てください。

次にTOPになるのは君だ!!

## 県連行事；カントリー・ペア・ステージ

司会の村田君、金井君のリードで始まったカントリー・ペア・ステージ。十数個団のステージへの参加はたいへん楽しく、盛り上がっていた。ゲームでは川又君がほかを圧倒する怪力をを見せつけ、見事に優勝した。おめでとう！

このステージは、茨口一会の全面的協力によって実現したものである。茨城県連のスカウト達をみごとにまとめあげ、リードした実力は大したものだ。（広報部長）



クイヌキ王 川又哲幸君(那珂1)

## 対談 刈部理事長 おおいに語る

本紙記者「いつからボーイスカウトにはいっているんですか？」

理 事 長「小学校の頃からかな。

僕が小学校の頃は少年団というものがあって、推せんで決まったんだ。昔は、団杖というものを使って、いろいろと活動したんだ」

本紙記者「理事長のやりがいは何ですか？」

理 事 長「1人でも多くのスカウトが、訓練を通して立派に成長してくれるのがうれしいねえ」

本紙記者「ボーイスカウトの女子加入について、どう思いますか？」

理 事 長「8NJJの時に、カリフォルニアのボーイスカウトの中に、女子も参加していたことが印象的だった。男女平等な世の中なのだから、どんどん加入してほしいよ」

本紙記者「どうもありがとうございました」

## VOL.4 きょうも暑いぜ！ベタベタ号

中央広場で、外国のスカウトを見かけ、ちょっとお話を聞いてみました。

彼女たちは、栃木の足利第1団と22年も交流を続けている台湾のスカウトで、倍率が400倍という関門をくぐり抜けてきたとてもすごい人たちでした。

もっといろいろなことを聞きたかったのですが、何

はともあれ、「言葉」の壁は厚くあまりうまくコミュニケーションがとれませんでしたが、みんなとても気の良さそうないい人達でした。みなさんも彼女たちを見かけたら、声をかけてみてはいかがですか?英会話ができれば話もはずむかも・・・。取材に協力してくれた、錢 怡均さん(14)、莊 恵さん(13)、蘇 郁涵さん(13)、林 永峰くん(15)、鄭 凱憶くん(15)、そして足利1団のみなさん、ありがとうございました。(百香里&涼子)

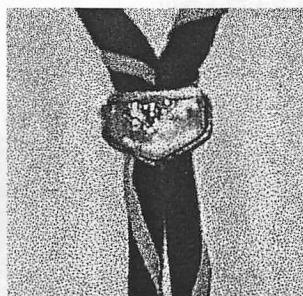
## 班旗コンテスト …… 第2野営区

第2野営区にて行われた「班旗コンテスト」で、見事優勝に輝いたのは、阿見1団のイーグル班の皆さんでした。デザインを担当した市原佑一君を中心にはばらしい班旗ができました。イーグル班の皆さん、おめでとう!



## THAT'S GREAT!

今年、発団20周年を迎える水戸6団では、記念のチーフリングを作りました。水戸6団の名物隊長がデザインしました。みなさんもこのチーフリングを一目見に行ってみてはいかがでしょうか?



また、水戸6団のこの日の夕食は手打ちうどん。真剣にうどんを打つ姿が印象的でした。みなさんの隊でも挑戦してみてはいかがでしょうか?

## みんな、ありがとう! by 県連本部一同

本年は、ボーイスカウト日本連盟創立75周年及び世界でスカウト運動が展開されて90周年という年であります。この記念すべき年にここ榛名山麓相馬原にて第14回茨城県キャンポリー並びに第4回関東キャンポリーが開催され、多くのスカウト達が自発活動、班制度の大切さを通してすばらしい体験をするとともに、今回のテーマ「ゆこう! 班旗をあげて~広く、高く、遠くを見よう、道は拓ける~」の中で、みなさんの情熱と行動力により、4県連の多くの仲間達と友情を育て、見事な成果を上げることができました。深い敬意と感謝を申し上げます。これにとどまらず、来年の第12回日本ジャンボリーを目指して、日々精進してください。

弥栄

県連本部長 武田 秀夫



## バイバイ by 広報部

この第14回茨城県キャンポリーにて「スカウト達にはともあれ、喜ばれる紙面作り」をモットーに、私たちなりにがんばってきました新聞発行も今日の分で最後となりました。みなさん楽しんでいただけましたでしょうか?すべてのサイトにうかがうことができなくて、たいへん申し訳ありませんでした。また、取材に協力してくれた方々にもたいへん感謝しております。5日間本当にありがとうございました。

広報部一同



広報部一同

## VOL.5 みんなくさいぞ！ポンポン号

シャワーな奴ら～豪雨の楽しみ方～

もう何も言いません。彼らの幸せそうな顔をよ一見見てやってください。



## FRIENDS !

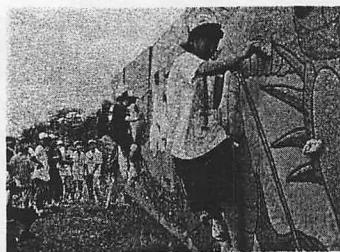
群馬県連に、私たちと同じ女子シニアが男子スカウト達と仲良くがんばっていました。彼女は前橋1団の石関むつかさん高1（写真中央）小学5年の時からボーアイスカウトで活動しているそうです。またいつか、どこかで会えるといいですね。



## 来るなら来い！ by 広報部のコーナー

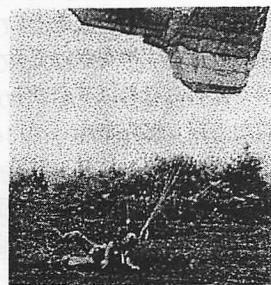
ペットボトルロケットで90mという記録を樹立した

私たちが次に挑んだのはクリフハンガーです。この難関も難なくクリアしたぜ。来るなら来い！  
b y 百香里&涼子



## 「来る来い」のおまけ

パラグライダーにも手を出しかけた私たちでしたが、風がなかったので飛ぶのが難しいらしく、失敗する人が続出してしまいました。今日はこのへんで許してやるとしよう…



## 撤収について by 県連本部

## &lt;撤収について&gt;

隊長の指示に従って速やかに撤収のこと。後に残すのは、感謝の気持ちと足跡のみ…。

## &lt;場内の交通について&gt;

- |         |                |
|---------|----------------|
| 12:00   | 資材運搬用トラック入場    |
| 13:00   | 資材運搬用乗用車・ワゴン入場 |
| 14:00   | スカウト乗車用バス入場    |
| 15:00以降 | スタッフ乗車用乗用車ほか入場 |

## &lt;ゴミについて&gt;

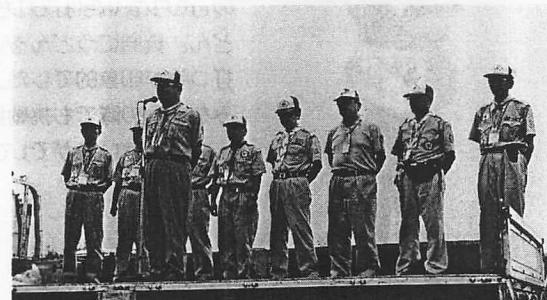
- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 第1回目収集                  | 9:00までに決められた集積場へ  |
| 第2回目収集                  | 12:00までに決められた集積場へ |
| ※まき、野営区割りのクイは、各隊にて持ち帰り。 |                   |

(ゴミに出してはいけません)

※交通事故には十分気をつけましょう。



県連本部大営火



県連閉会式

# ローバームート'97 参加報告書

茨城県連盟 6 地区利根第一団

ローバースカウト 石田峰一

僕は、今年の関東キャンポリーに県連の配給副部長として参加した後、8月26日から開催されたローバームート'97にも参加してきました。きっかけは団委員長に声を掛けて戴きローバームート関東事業部と連絡を取って事前キャンプに参加したところ、これは面白いと思いこの大会に参加しました。

茨城県連の参加者は僕と、牛久第一団の戸館さん、高橋さんの3名だけでした。交通手段は、戸館さんの車に乗せて戴き、3人一緒に開催地である兵庫県兎和野高原まで高速道路を使って行って来ました。

この大会では、プログラムごとにクルー（班）単位で活動するというものでした。僕のプログラムは、日本海海洋プログラムといって、日本海でシュノーケリングに挑戦するというものでした。戸館さんや高橋さんは違うプログラムだったので、もうまったく初対面の人達と一緒に活動しました。東京、名古屋、大阪、京都、兵庫などのスカウトと一緒に活動しました。クルーは全員で20人くらいで、仲良くなるには、ちょうど良い人数だったのでよかったです。

初日は顔合わせをして、2日目にプログラム基地へ移動しました。プログラム基地といつても、海に面したキャンプ場で、そこに設営してインストラクターにシュノーケリングをレクチャーしてもらい、その後は海で泳いだりしてものすごく楽しかったです。

僕は、ローバー1年生つまり19歳にもかかわらず、みんな関西弁で「敬語はなしやで。みんなローバーの仲間なんやからな」と言ってみんな同じレベルのスカウトとして仲間としてたのしました。それにベンチヤー大会とは違ってガールのリーダーや、大学ローバーの女の子も多少参加していましたし……。ローバーと言ってもそれぞれリーダーもやっていて、上に偉い人もいないし、下にも面倒を見るスカウトがいないので、みんなもスカウトに戻ってこのローバームートを楽しんでいました。

夜は夜で食事をしながらお酒をのんだり、踊ったり昼の疲れも忘れて盛り上がりました。クルーの中で僕の担当はコックでした。腕には自信があったので、立候補したところみんな「うまい！」と言って料理を食べてってくれました。そしてまた夜にはいろんな話を話したり聞いたりしました。始めはアルバイトの話や、自分の団の話などしていたら地元ということもあって兵庫県南部地震の話題が出ました。もう口では言い表せ

ないような恐怖と悲惨さがあったようで、なぜ自分はあの時ボランティアとして行かなかったのかと自問し、また後悔しました。そのほか、淳君事件の話もしました。印象的だったのは「これ淳君の同級生にもらったんよ」と腕飾りを見てくれたガールのリーダーの話でした。茨城なんてもうぜんぜん遠くてあまり関係がないと思っていたけど、そうではないんだと考えさせられました。その他ナホト力号の重油流出事故話では、まさにこの海にボランティアとして来たともそのガールのリーダーが言っていたので、もう頭が上がらなくなってしまったし、僕は一体何をやっているんだと本当に恥ずかしくなってしまいました。

3日目も海で泳いだり、あと浜でピーチバレーをしたりと、時間が経つのも忘れて楽しんだ後、僕が仕切ってバーベキュー大会をしました。キャンプ場の炊事場を貸し切って夕食を食べながらお酒を飲んだりとこの日も遅くまで盛り上がりしました。その夜も片付けが済むとランタンを囲んで6、7人でいろいろと関西弁で話をしました。スカウト活動をしていて何が楽しいといったらやっぱりこの一時こそ一番楽しいと僕は思います。しかもこうやって全国から集まつた仲間と話をする機会なんかあまりないし、とてもいい経験でした。

4日目は午前中に撤収をして昼頃に迎えのバスの中で昼食を食べ、主会場へ戻りました。夕食は各事業部ごとに別れて食べました。僕は全国代表者会議の茨城代表だったのでその代表者の人達と一緒に食べました。その日から代表者会議が始まり僕も出席しました。そもそもムートというのは会議という意味があり：会議の中では各県連でのローバー活動の活性化をはかろうという議題を中心に2時間近く議論しました。その後テントサイトに戻って、またクルーどうしで夜明けまで話をして、そのままベンチに毛布にくるまって寝てしまいました。

5日目本當は、9時から代表者会議があったのですが大寝坊してしまって昼頃目覚めた時には後の祭りで、いけないのは分かっていたのですがクルーの仕事もあったり、多少胃が痛いのもあって午後の会議も休ませてもらいました。

クルーの仕事は自分はコックをやっていたので最終日のファイナルパーティーの買い出しにいかなければなりませんでした。食材と飲み物を買って帰って来た

ときにちょうど会議が終わったみたいで、埼玉の代表の人と会いました。那人とは事前キャンプの時から知っていたのでその人から決定事項を聞きました。決定事項は①12N Jでは、ローバースカウトが国際部を担当する。②12N Jの会場にローバーズ村を建設する。③震災などに備えて災害対策R S委員会の様なものを構成する。④2年後にまたローバームートを開催する。というものでした。とくに③については被災地が地元だったので、かなり熱が入った様でした。

テントサイトに戻って荷物を降ろすと移動中もそうだったのですが午前にも増して胃がもたれて痛くなってしまい水を飲んで中の物を出して閉会式の時間に少し休ませてもらい2時間位眠ったら多少良くなったのでみんなに料理を披露して食べてもらいました。その夜も朝まで話をしてついに別れの日に……。

6日目ついに最終日です。個人装備をまとめいいよ撤収です。みんなテンションが下がってきてしまったのですが、さすがは関西人わざと盛り上げる事を

してくれました。弥栄だけでは寂しいと全員一人づつ胴上げをしたり、面白いカエルの歌の振り付けをして踊ったりみんな楽しく解散することができました。僕は一人で戸館さんの車に向かって歩いて行く時今回のクルーのみんなとは一緒に過ごした時間は少ないけれど、きっと一生懸命仲間になれたと思いました。帰りの車の中でもこの大会の余韻に浸りながら帰って来ました。

この報告書を作成しているのは帰って来て3日目ですが、いまだに仲間の事、楽しかった思い出などで頭の中が一杯です。僕の人生は今回の大会に参加した事により多大な影響を受けたと思います。ものの考え方や、ボランティア精神、仲間どうしの友情、関西人の面白さ、そして改めてスカウト活動の面白さなど、お金では手に入れられないようなものをたくさん手に入れた様な気がします。そして何より、たくさんの後輩にもこんな体験をしてもらいたいと思います。

## 発団おめでとう

平成9年10月11日竜ヶ崎市ふれあい公園において竜ヶ崎第2団発団式典が行われました。竜ヶ崎第2団は竜ヶ崎第1団から4月に分封し、声の大きな団委員長を中心として活気溢れる団です。現在スカウト50名、大いなる活躍を期待しています。

## 発団にあたって

第6地区 竜ヶ崎第2団

団委員長 上村 義正

このたび、偉大なる伝統ある竜ヶ崎第1団より分封するはこびとなり、第2団の責任の重さを痛感いたしております。

新生の第2団は、ニュータウン地域を中心に結成されました。この地は、全国各地の出身者が集い、種々多様な理念と技能をお持ちの方が多く、スカウティングに最適の地です。

私達のシンボルカラーは、胸にもえる情熱の赤です。世界平和を目指し、理想のスカウティングを目標に、スカウトと共に赤いチーフのごとく胸を高鳴らせ、スカウティングの道を求めて邁進することが、私達の“ちかい”です。

先輩各団の弥栄を祈念いたします。

## 編集後記

昨年11月に第14号を発行以来、広報委員長の怠慢により1年間発行が出来ませんでしたので、10月理事会で新しく広報特別委員長を選任いたしました。

新委員長には、竜ヶ崎第1団の海老原 学さんが就任され、早速日本連盟75周年中央式典と第14回茨城県キャンポリーの記事を纏められました。

これからは、定期的に年3~4回発行出来るようお願いいたします。

(堀江)